

平成 1 5 年 度

組 織 ・ 人 員 配 置 等
事 業 概 要

三重県科学技術振興センター
水 産 研 究 部

平成15年度水産研究部事務分掌表

部長 西村守央

企 画 調 整 グ ル ー プ

| | |
|---------------|------|
| 副参事(グループリーダー) | 出口勝信 |
| 主幹 | 中井光輝 |
| 主幹兼機関長 | 岡本楠清 |
| 船長 | 松尾剛平 |
| 主査 | 青木秀夫 |

- 1 職員の身分取り扱いに関する事
- 2 予算、庶務経理及び決算に関する事
- 3 財産の管理に関する事
- 4 試験研究に係る企画連絡調整に関する事
- 5 調査船の運営及び維持管理に関する事
- 6 その他のグループに所管しない事

水 産 資 源 育 成 グ ル ー プ

| | |
|-----------------|------|
| 総括研究員(グループリーダー) | 林政博 |
| 主幹研究員 | 古野優 |
| 主任研究員 | 松田浩一 |

- 1 新品種作出研究に関する事
- 2 種苗量産高度技術開発に関する事
- 3 養殖技術の高度化に関する事
- 4 新育種技術の開発に関する事
- 5 魚類の防疫対策の指導に関する事

資 源 開 発 管 理 グ ル ー プ

| | |
|-----------------|------|
| 総括研究員兼研究企画監(GL) | 中島博司 |
| 主任研究員 | 藤田弘一 |

- 1 漁海況予報技術の開発に関する事
- 2 水産生物資源の調査に関する事
- 3 水産生物資源管理技術開発に関する事
- 4 資源増大技術開発に関する事
- 5 増殖場・藻場造成技術開発に関する事
- 6 沿岸漁場の整備・造成技術の開発に関する事

水 圏 環 境 グ ル ー プ

| | |
|-----------------|------|
| 主幹研究員(グループリーダー) | 広瀬和久 |
|-----------------|------|

- 1 貧酸素・赤潮に係る研究に関する事
- 2 内湾漁場の環境改善技術開発に関する事
- 3 内湾域の藻場造成技術開発に関する事
- 4 貝毒研究に関する事
- 5 水産系廃棄物の有効活用及び水産物利用加工に係る研究に関する事

地域結集型共同研究グループ

総括研究員(グループリーダー) 山形陽一
主任研究員 清水康弘

- 1 浚渫土を利用した干潟・浅場の造成技術に関する事
- 2 英虞湾におけるアマモ場造成技術に関する事
- 3 アコヤガイの生理と環境条件の関係に関する事
- 4 底泥を中心とした物質循環に関する事
- 5 環境モニタリング技術開発に関する事
- 6 真珠養殖負荷削減技術の開発に関する事
- 7 酸化剤を用いた底質改善技術の開発に関する事

鈴鹿水産研究室

河川・浅海資源グループ

主任研究員兼室長(GL) 山田浩且

- 1 魚類の持続的生産に係る試験研究に関する事
- 2 貝類の増殖に係る試験研究に関する事
- 3 黒のり養殖に係る試験研究に関する事

内湾生態系グループ

主任研究員(グループリーダー) 津本欣吾

- 1 浅海域の生態系保全に係る試験研究に関する事
- 2 陸水域の生態系保全に係る試験研究に関する事
- 3 河川環境の保全に係る試験研究に関する事

尾鷲水産研究室

研究グループ

主幹研究員兼室長(GL) 紀平正人
主任研究員 土橋靖史

- 1 かんすい養殖の実用化に係る試験研究に関する事
- 2 魚類の病害対策に係る調査研究に関する事
- 3 マハタ種苗量産化技術開発研究に関する事
- 4 魚類養殖場環境保全調査研究に関する事
- 5 深層水利用閉鎖養殖システム開発研究に関する事

予 算 総 括

| 事 業 名 | 予 算 額 (千円) |
|--|----------------|
| (1)水産研究部予算 | 111,655 |
| 水産研究部管理費 | 55,447 |
| (1)水産研究部管理費 | 55,447 |
| 試験研究費 | 54,882 |
| 1.資源管理関係 | 17,837 |
| (1)日本周辺高度回遊性魚類資源対策調査委託事業費 | 1,643 |
| (2)資源評価調査事業費 | 15,000 |
| (3)伊勢湾底魚資源の回復に関する研究費 | 1,194 |
| 2.栽培漁業関係 | 10,892 |
| (1)アワビ類の持続的生産に関する研究費 | 6,000 |
| (2)イセエビ種苗量産技術開発費 | 3,452 |
| (3)トラフグ資源増大技術開発事業費 | 1,440 |
| 3.漁海況関係 | 4,438 |
| (1)資源管理に必要な情報の提供事業費 | 1,444 |
| (2)IT活用型海洋構造調査事業費 (海洋構造変動パターン解析技術開発試験事業費) | 2,994 |
| 4.増・養殖試験関係 | 16,056 |
| (1)伊勢湾地域増養殖対策試験費 | 866 |
| (2)魚類養殖試験費 | 1,388 |
| (3)「三重のマハタ」高品質・早期安定種苗生産技術開発事業費 | 8,225 |
| (4)深層水利用閉鎖養殖システム開発研究費 | 2,336 |
| (5)養殖魚の抗病性向上技術開発基礎調査費 | 1,500 |
| (6)自発摂餌システム導入による養殖生産管理技術の高度化に関する研究費 | 1,741 |
| 5.環境関係 | 5,659 |
| (1)英虞湾漁場環境基礎調査費 | 1,779 |
| (2)ヘテロカブサ赤潮等発生予察技術開発試験費 | 2,730 |
| (3)淡水魚類の多様性保全に関する研究 | 1,150 |
| 施設整備関係 | 1,326 |
| (1)機器整備費 | 1,326 |

参考：農林水産商工部等からの試験研究業務

| 事 業 名 | 予 算 額 (千円) |
|--|----------------|
| (2)水産物供給チーム予算 | 18,009 |
| (1)多面的資源管理型漁業推進事業 | 2,809 |
| (2)資源回復計画作成推進 | 554 |
| (3)漁獲可能量の適切な管理推進事業費 漁獲管理情報処理システム整備事業費 | 347 |
| 県計画の作成 | 43 |
| (4)養殖衛生管理体制整備事業費 | 589 |
| (5)高品質アコヤ貝育成強化事業費 | 4,670 |
| (6)美しい「みえのうみ」維持・創造プロジェクト | 7,850 |
| (7)漁場環境保全推進調査事業費 貝毒成分等モニタリング事業費 | 362 |
| 漁場保全対策推進事業費 | 160 |
| 漁場環境指標策定調査事業費 | 892 |
| (3)水産基盤整備チーム予算 | 未定 |
| (1)伊勢湾地区藻場造成事業調査費 | 未定 |
| (4)環境部予算 | 10,382 |
| (1)勢田川浄化に関する生物調査費 | 10,382 |
| (5)科学技術振興センター予算(全体予算) | 303,998 |
| (1)共同研究事業費 閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業費 | 44,554 |
| 地域水産資源の有効活用研究事業費 | 4,804 |
| (2)特定プロジェクト研究費 水熱反応によるRDF焼却灰のリサイクル技術に関する研究費 | 3,708 |
| ホテル厨芥等の養殖魚飼料利用技術に関する研究費 | 3,684 |
| 建設廃材リサイクル技術研究開発事業費 | 8,540 |
| (3)研究施設機器整備費 「三重のマハタ」種苗量産安定化研究施設整備事業費 | 238,708 |

事業概要

| 事業名 | 予算額 | 事業概要 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|---------------------------|---|----------|-------|--------------|-----|------|----|-----|-----|------|-------|-------|------|-----|-------|-----|------|------|--------------|------|---|-----|------|-------|--------------|------|---|-----|------|-------|------|----|---|-----|------|-------|--------------|
| <p>1 総務関係 (1)水産研究部予算 水産研究部管理費</p> | <p>(千円)</p> <p>55,447</p> | <p>調査研究に必要な維持管理経費等。 (県単)</p> <p>【調査船】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">項目 船名</th> <th style="text-align: center;">船質</th> <th style="text-align: center;">トン数</th> <th style="text-align: center;">馬力数</th> <th style="text-align: center;">進水年月</th> <th style="text-align: center;">用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">あさま</td> <td style="text-align: center;">軽合金</td> <td style="text-align: center;">79.0</td> <td style="text-align: center;">D 400</td> <td style="text-align: center;">H14.3</td> <td style="text-align: center;">調査研究</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小大勢</td> <td style="text-align: center;">F.R.P</td> <td style="text-align: center;">1.1</td> <td style="text-align: center;">D 42</td> <td style="text-align: center;">H4.8</td> <td style="text-align: center;">あさま通船 雑作業</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">まつかぜ</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.3</td> <td style="text-align: center;">外 30</td> <td style="text-align: center;">H11.3</td> <td style="text-align: center;">養殖作業 湾内観測</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">れいすい</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">2.6</td> <td style="text-align: center;">D 40</td> <td style="text-align: center;">S62.7</td> <td style="text-align: center;">沿岸観測</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">灘風</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.5</td> <td style="text-align: center;">D 35</td> <td style="text-align: center;">H14.3</td> <td style="text-align: center;">湾内観測 養殖作業</td> </tr> </tbody> </table> | 項目 船名 | 船質 | トン数 | 馬力数 | 進水年月 | 用途 | あさま | 軽合金 | 79.0 | D 400 | H14.3 | 調査研究 | 小大勢 | F.R.P | 1.1 | D 42 | H4.8 | あさま通船 雑作業 | まつかぜ | " | 1.3 | 外 30 | H11.3 | 養殖作業 湾内観測 | れいすい | " | 2.6 | D 40 | S62.7 | 沿岸観測 | 灘風 | " | 1.5 | D 35 | H14.3 | 湾内観測 養殖作業 |
| 項目 船名 | 船質 | トン数 | 馬力数 | 進水年月 | 用途 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| あさま | 軽合金 | 79.0 | D 400 | H14.3 | 調査研究 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 小大勢 | F.R.P | 1.1 | D 42 | H4.8 | あさま通船 雑作業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| まつかぜ | " | 1.3 | 外 30 | H11.3 | 養殖作業 湾内観測 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| れいすい | " | 2.6 | D 40 | S62.7 | 沿岸観測 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 灘風 | " | 1.5 | D 35 | H14.3 | 湾内観測 養殖作業 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>2 資源管理関係 (1)水産研究部予算 日本周辺高度回遊性 魚類資源対策調査委 託事業費 (基本事業：41205)</p> | <p>1,643</p> | <p>マグロ類やカツオなどの高度回遊性魚類について、国際的な資源管理体制の確立が必要となっている。そのため、国を中心とした全国組織のもとに、本県では県立水産高校と連携して、漁獲データや生物調査結果等の収集・解析を行う。 (水産研究部国庫委託試験研究費)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>資源評価調査事業費 (基本事業：41205)</p> | <p>15,000</p> | <p>イワシ類・アジ・サバ類・ブリ・マダイ・ヒラメ・スルメイカ・トラフグ・マアナゴ・シャコ等の資源量の評価を行い、適正利用を図るための基礎資料を収集する。 (水産研究部国庫委託試験研究費)</p> <p>(1) 生物情報収集調査， (2) 標本船調査， (3) 漁場一斉調査（モジャコ） (4) 沖合海洋観測等調査， (5) 新規加入量調査， (6) 魚種別系群判別会議</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>伊勢湾底魚資源の回復に関する研究 (基本事業：41205)</p> | <p>1,194</p> | <p>伊勢湾沿岸の漁業を支える重要底魚資源、特に近年減少が著しいマアナゴ、シャコを対象に、湾内における生活史とそ の中で見られる生態的特性を把握するとともに、それらを踏 まえた適正な資源管理手法を検討する。 (特定試験研究費；県単)</p> <p>(1) マアナゴの初期生態調査 (2) シャコの初期生態調査 (3) 生息環境調査 (4) 小型底曳き網による漁獲実態調査</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 事業名 | 予算額 | 事業概要 |
|---|-------|---|
| (2)水産物供給チーム予算 | (千円) | |
| 多元的資源管理型漁業推進事業 | 2,542 | イカナゴ資源およびアナゴ籠漁業について量および質を一体とした資源管理を取り組むうえで必要とされる基礎的知見を収集する。 (水産物供給チーム執行委任; 国補1/2) |
| 資源回復計画作成推進 | 554 | 減少した水産資源の回復のための計画策定を行う。 (水産物供給チーム執行委任; 国補1/2) |
| 3 栽培漁業関係 | | |
| (1)水産研究部予算 | | |
| アワビ類の持続的生産に関する研究費 (基本事業: 41205) | 6,000 | アワビ類の資源変動機構, 減少原因を明らかとし, 有効な対応策を検討する。 (特定試験研究費; 県単) (1) 沿岸岩礁域の水質などの環境調査 (2) 海藻類相の経年調査とアラメ類の生産量調査 (3) アワビ類の加入および生残状況の調査 |
| イセエビ種苗量産技術開発費 (基本事業: 41302) | 3,452 | 本県沿岸漁業の重要種であるイセエビの増殖技術開発を目的に, イセエビ幼生の大量飼育技術の開発を行う。 (経常試験研究費; 国補1/2) (1) 新餌料及び人工飼料の開発 (2) 飼育環境の解明 (3) 大量飼育システムの開発 |
| トラフグ資源増大技術開発事業費 (基本事業: 41205) | 1,440 | 種苗放流による資源の増大技術の開発を行う。 (水産研究部国補経常試験研究費; 国補1/2) (1) サイズ別放流試験 (2) 愛知, 静岡, 日本栽培漁業協会との共同放流試験 (3) 市場調査による放流魚の再捕率の把握 |
| 4 漁海況関係 | | |
| (1)水産研究部予算 | | |
| 資源管理に必要な情報の提供事業費 (基本事業: 41205) | 1,444 | 本県沿岸の漁況及び海況を定期的に調査して, その情報を関係機関に広報し, 新漁業管理制度の推進に資する。 (水産研究部国補経常試験研究費; 国補1/2) (1) 漁海況情報の収集 (2) 漁海況情報の解析 (3) 漁海況情報の提供 |
| IT活用型海洋構造調査事業(海洋構造変動パターン解析技術開発試験事業費) (基本事業: 41205) | 2,994 | 熊野灘沿岸域における黒潮流路の変化と黒潮暖水波及との関連について, その変動機構の解明と海況予測の精度向上を図る。 (経常試験研究費; 国補1/2+県費1,082) (1) 水深別流向流速データの収集 (2) 人工衛星情報の解析 (3) 海況構造の迅速な把握 |

| 事業名 | 予算額 | 事業概要 |
|---|-------|--|
| (2)水産物供給チーム予算 | (千円) | |
| 漁獲可能量の適切な管理推進事業費 | | |
| -1漁獲管理情報処理システム整備事業費 | 347 | <p>国連海洋法条約の批准により，排他的経済水域の設定並びにこれに伴う漁獲可能量（TAC）の決定及び漁獲量の管理が義務づけられたため，漁獲量を迅速かつ正確に把握する必要がある。このため，漁業協同組合等のコンピューターネットワークにより，漁獲量の必要な基礎資料，情報を収集し，行政機関等へ報告すると共に，資源の解析，評価を行い，適正な漁獲量管理に資する。</p> <p>（水産物供給チーム執行委任；国補1/2）</p> |
| -2県計画の作成 | 43 | <p>三重県における漁獲可能量設定の計画作成を行う。</p> <p>（水産物供給チーム執行委任；国補1/2）</p> |
| 5 増・養殖試験関係 | | |
| (1)水産研究部予算 | | |
| 伊勢湾地域増養殖対策試験費 （基本事業：41205） | 866 | <p>ノリの色落ち是有明海において大きな問題となったが，伊勢湾でも栄養塩類の供給不足やプランクトンの発生によりノリの色落ちは大きな被害を与えている。海況とノリの色落ちの関係を明らかにするとともに，摘採後の実用的なノリの色落ち回復技術の開発を行う。</p> <p>（水産研究部県単経常試験研究費）</p> <p>（1）漁場環境の変動とノリの色落ちに関する研究 （2）色落ちノリの色調回復技術の開発</p> |
| 魚類養殖試験費 （基本事業：41205） | 1,388 | <p>魚類養殖業の経営安定化を図るため，次の試験を行う。</p> <p>（水産研究部県単経常試験研究費）</p> <p>（1）マダイのエドワジェラ症対策試験</p> |
| 「三重のマハタ」高品質・早期安定種苗生産技術開発事業費 （基本事業：41302） | 8,225 | <p>「三重のマハタ」を真の県の特産品とするために，種苗量産の安定化と高品質な（病気に強い，形がよい）種苗を生産するための技術開発を行う。</p> <p>（特定試験研究費；県単）</p> <p>（1）生残率向上試験 （2）形態異常魚対策試験 （3）ウイルス性疾病（VNN）対策試験</p> |
| 深層水利用閉鎖養殖システム開発研究費 （基本事業：41205） | 2,336 | <p>クエを対象魚種として循環濾過による養殖システムを開発し，深層水利用について技術的な検討を行う。</p> <p>（特定試験研究費；県単）</p> |
| 養殖魚の抗病性向上技術開発基礎調査費 （基本事業：41205） | 1,500 | <p>抗病性の高い養殖魚の育成技術を開発するため，漁場環境や飼育管理条件が魚の抗病性に及ぼす影響について調べる。</p> <p>（水産研究部国庫委託試験研究費）</p> |

| 事業名 | 予算額 | 事業概要 |
|---|---------------|---|
| 自発摂餌システム導入による養殖生産管理技術の高度化に関する研究 (基本事業：41205) | (千円) 1,741 | 自発摂餌システムは魚の体内時計を利用した給餌方法である。このシステムを用いることで、魚の摂餌要求に合った頻度で無駄のない養殖生産ができる可能性がある。マハタを供試魚として、当システムの技術開発試験を行う。 (経常試験研究費；国補1/2) |
| (2)水産物供給チーム予算 養殖衛生管理体制整備事業費 | 589 | 医薬品及びワクチンの適正使用について指導するとともに、養殖衛生管理技術の普及、啓発を行う。また、疾病の監視及び発生時の対策を実施する。 (水産物供給チーム執行委任；国補1/2) |
| 高品質アコヤ貝育成強化事業費 | 4,670 | 高品質なアコヤ貝の育成および赤変化を伴う感染症対策に関する試験を行う。 (1) 耐病性評価方法の検討 (2) 国内地方系統の貝の養殖特性調査 (3) 耐病性貝試作品の評価・生産 (4) 真珠生産試験 (5) 養殖技術の改善に関する試験 (水産物供給チーム執行委任；国補1/2) |
| 美しい「みえのうみ」維持・創造プロジェクト | 7,850 | 水産資源として有用であるとともに、伊勢湾内の自然浄化の担い手として重要なアサリ、シジミ、ハマグリ資源について、主漁場周辺での生活史を把握するとともに、資源の維持、培養を図るための干潟、漁場造成のあり方を検討する。また、伊勢湾の貧酸素水塊シミュレーションモデルを構築し、貧酸素の軽減に必要な汚濁負荷削減量など環境目標値の設定に資する。 (水産物供給チーム執行委任；県単) (1) 有用二枚貝類の資源加入機構に関する研究 (2) 貧酸素水塊形成シミュレーションモデルの構築 |
| 6 環境関係 (1)水産研究部予算 | | |
| 英虞湾漁場環境基礎調査 (基本事業：41205) | 1,779 | 英虞湾の水底質環境ならびに餌料プランクトンや赤潮プランクトンの消長等を調査し、英虞湾プランクトン速報として関係機関に情報提供するとともに、漁場環境の長期変動を捉える。 (水産研究部県単経常試験研究費) |
| ヘテロカプサ赤潮等発生予察技術開発試験費 (基本事業：41205) | 2,730 | 真珠養殖業に多大な被害を与えるヘテロカプサについて赤潮形成機構と英虞湾の海域特性との関連を解明し、赤潮予察の可能性を検討する。 (水産研究部国庫委託試験研究費) |

| 事業名 | 予算額 | 事業概要 |
|---|-------------------|--|
| 淡水魚類の多様性保全に関する研究 (基本事業：41205) | (千円) 1,150 | 県内主要河川における淡水魚類の分布実態を把握するとともに、改修された河川の魚類相復元の可能性やブラックバスなどの外来魚が生態系に与える影響を明らかにし、多様な淡水魚類相の保全手法を見出す。 (水産研究部県単経常試験研究費) (1) 淡水魚類分布調査 (2) 淡水魚類相の復元に関する研究 (3) 外来魚が生態系に与える影響に関する研究 |
| (2)水産物供給チーム予算 漁場環境保全推進事業費 -1貝毒成分等モニタリング事業費 -2漁場保全対策推進事業費 -3漁場環境指標策定調査事業費 | 362 160 892 | 二枚貝の毒化状況と貝毒プランクトンの出現量をモニタリングし、出荷自主規制等の措置を講ずることで、貝毒被害を防止する。 (水産物供給チーム執行委任；国補1/2) 沿岸及び内水面の漁場を保全するため、漁場の監視、被害発生時の情報連絡等漁場監視体制を整備し、公害等による漁場被害の未然防止又は軽減を図るとともに、生物モニタリング調査を実施することにより、海域の富栄養化等長期的な変動についても把握に努める。 (水産物供給チーム執行委任；国補1/2) 底質と底生生物の関係を有機物質の面から調査し、周年底生生物が生息できる環境条件を明らかにする。この条件と各漁場における内湾度指数を考慮し、より実態に近い環境指標値の策定を行う。 (水産物供給チーム執行委任；国補1/2) |
| (3)水産基盤整備チーム予算 伊勢湾地区藻場造成事業調査費 | 未定 | 伊勢湾地区の藻場造成事業化に向けて、アマモ種子の採取、追熟、選別、保存方法等を検討することにより、効率的なアマモ場造成技術を確立する。 (水産基盤整備チーム執行委任；国補1/2) |
| (4)環境部予算 勢田川浄化に関する生物調査費 | 10,382 | 勢田川河口干潟において、二枚貝(アサリ)を活用した水質浄化機能の向上手法を検討する。 (環境部水環境チーム執行委任；県単) (1) 干潟周辺環境調査 (2) アサリ天然資源動向調査 (3) 小規模放流試験 |

| 事業名 | 予算額 | 事業概要 |
|---|---|--|
| <p>7 共同研究・プロジェクト研究関係 (5)科学技術振興センター予算</p> <p>共同研究事業費 -1閉鎖性海域の環境創生プロジェクト研究事業費 (基本事業：51401)</p> <p>-2地域水産資源の有効活用研究事業 (基本事業：32107)</p> <p>特定プロジェクト外研究費 -1水熱反応によるRDF焼却灰のリサイクル技術に関する研究費</p> <p>-2ホテル厨芥等の養殖漁業用飼料化による地域内循環システムに関する研究費</p> <p>-3建設廃材リサイクル技術研究開発事業費</p> | <p>(千円)</p> <p>全体 44,554 水産研究部 34,554</p> <p>全体 4,804 水産研究部 712</p> <p>全体 3,708 水産研究部 未定</p> <p>全体 3,684 水産研究部 882</p> <p>全体 8,540 水産研究部 未定</p> | <p>英虞湾の環境改善と新技術の創造を目的とした科学技術振興事業団の地域結集型共同研究事業「閉鎖性海域における環境創生プロジェクト事業」に参画し、英虞湾の自然浄化機能の向上と底質改善ならびに水質予報システムの構築に係る研究に産学官共同で取り組む。(共同研究事業費；県単)</p> <p>(1) 浚渫土を利用した干潟・浅場の設計造成技術の開発 (2) 細胞培養を利用したアマモ種苗量産と藻場造成技術の開発 (3) 底質改良技術の開発 (4) シミュレーションモデル開発のための海域環境調査(流動観測, 栄養塩等調査) (5) 生態系モデルでの底質における物質循環モデルの開発 (6) 養殖適正量評価のためのアコヤガイ成長モデルの開発 (7) その他委託事業</p> <p>真珠養殖業から排出されるアコヤ貝殻を有効利用するため、貝殻付着物の除去技術および粉碎技術を開発するとともに、安全性を確認するため重金属含有量を測定する。(共同研究事業費；県単)</p> <p>水熱反応を利用したRDF焼却灰を多孔質(ゼオライト, トバモライト)へ合成する技術が確立しつつあることから、工業研究部, 保健環境研究部, 農業研究部と連携して、この多孔質体の有効利用(吸着剤, 土壌改良材等)を図る。(特定プロジェクト外研究事業費；県単)</p> <p>伊勢志摩地域をモデル地区として、厨芥等の地域内有機性廃棄物を原料とする養殖飼料化技術と低脂改善技術を開発し、これをシステムとして確立する。(特定プロジェクト外研究事業費；県単)</p> <p>工業研究部が中心となって進めているコンクリート廃材の有効利用を図る研究に参画し、コンクリート廃材を魚礁として用いる際に必要な基礎実験として水産生物の生息とコンクリートブロックの大きさの関係を調査する。(特定プロジェクト外研究事業費；県単)</p> |

| 事業名 | 予算額 | 事業概要 |
|--|-------------------|---|
| 8 施設整備関係 <u>(1)水産研究部予算</u> 機器整備費 | (千円) 1,326 | 備品の更新・整備。 (研究施設機器整備費；県単) |
| <u>(5)科学技術振興センター予算</u> | 238,708 | マハタの種苗量産過程における課題に対処するために必要な研究施設の整備を行う。 (研究施設機器整備費；県単) |
| 「三重のマハタ」種 苗量産安定化研究施設整備事業費 | | |